

よーじやグループ代表取締役 國枝昂が『カンブリア宮殿』に出演**「みんなが喜ぶ京都にする」を目指した変革**

放送日：2026年2月5日(木)

よーじやグループ(京都府京都市下京区)の代表取締役・國枝昂が、2026年2月5日(木)にテレビ東京系で放送中の日経スペシャル『カンブリア宮殿』に出演いたしました。昨年ロゴマークの変更を発表したライフスタイルブランド「よーじや」や、ワンコインから十割そばを提供する「十割蕎麦専門店 10 そば」、京都の生産者さんにつながるお店「26(にーろく)ダイニング」など、國枝が就任してから行なったよーじやグループの改革を取り上げていただきました。

**【よーじやグループが『カンブリア宮殿』で紹介されました】**

弊社は1904年、「國枝商店」として創業。舞台化粧道具や日用品を扱う、地元根差した小さな商いから歩みを始めました。1990年代、テレビ番組をきっかけにあぶらとり紙ブームが到来して以降は、“あぶらとり紙のお店”“京都土産の定番”として多くの観光客のみならずご愛顧いただいております。

しかしその一方で、あぶらとり紙と観光需要に依存した事業構造が長年続いておりました。主力商品であったあぶらとり紙の売上も伸び悩み、経営は厳しい局面を迎えていました。そこにコロナ禍による観光客の激減が重なり、危機は一層深刻なものとなります。そうした状況下で2019年8月、29歳で代表取締役に就任した國枝は「脱・観光依存」を掲げ、ブランドの再定義に着手。京都のお土産から日常使いしていただける存在へと進化するための構造改革に挑みました。現在は「みんなが喜ぶ京都にする」をコーポレートスローガンに、京都にかかわるすべての人にとって価値のある企業になるべく、「よーじや」ブランドにとどまらずさまざまな事業を行っております。

今回の放送では、スキンケアアイテムや雑貨など日常に寄り添う商品開発への転換に加え、若年層や地元のお客さまとの接点として展開するカフェや「十割蕎麦専門店 10 そば」、さらに“京都の生産者さんにつながるお店”をコンセプトとした新業態「26(にーろく)ダイニング」が紹介されました。現場での挑戦やお客さまの声を通じ、よーじやグループが次の100年へ向けて歩み出す姿が描かれています。

今回の取材に際し、インタビューにご協力いただいたお客さまやお取引の皆さまにも、心より御礼申し上げます。

[カンブリア宮殿をご視聴いただいた皆さまへ——「まだ成功ではない」その通りだと思っています](#)

[『カンブリア宮殿』放送回予告 YouTube](#)

[『カンブリア宮殿』よーじやグループ放送回](#)

【よーじやグループの取り組み】

京都発のライフスタイルブランド「よーじや」

やさしさにこだわったバラエティ豊かな商品やメニューを提供する、ショップとカフェ。ショップでは、あぶらとり紙やハンドクリームなどのスキンケアアイテムや、コーポレートキャラクター「よじこ」のグッズといった雑貨アイテムまで約 170 種類を展開。

観光先ではもちろん、日常に寄り添う「おなじみの店」を目指して、京都府外にも北海道や東京、大阪、福岡に 20 店舗展開しています。常設店以外にも、地域の方に「よーじや」に触れていただく機会をつくるため、全国各地で POP UP も開催しております。2025 年は 12 か所で開催し、地域のみなさまに大変ご好評いただきました。



十割蕎麦専門店 10 そば

国産そば粉を使用したこだわりの十割そばを 500 円から提供する「十割蕎麦専門店 10 そば」。「ざるそば」など約 20 種類の通常メニューのほか、栄養価の高い十割そばの可能性を広げるべく、ユニークなメニューも開発しております。天ぷらやかき揚げにもそば粉を使用しており、グルテンフリーでからだに負担をかけない食事をお楽しみいただけます。よーじやグループが掲げる「脱・観光依存」の取り組みのひとつとして、2022 年に 1 号店をオープンし、現在は京都と大阪に 3 店舗展開しています。出店先の近隣住民に愛される店舗を目指し、多くのリピーターの方に支えられています。



26(にーろく)ダイニング

「26(にーろく)ダイニング」は、2025 年 11 月に新業態として誕生した和食・創作料理店です。「京都の生産者さんとつながるお店」をコンセプトに、京都府 26 市町村より集めたドリンクや食材を生産者さんの思いとともに提供いたします。京都各地にはまだ世に知られていない魅力がたくさんあります。そういった魅力や価値をお届けすることで、お客さまが「おいしい！」という体験から、生産者さんの思いや、地域の魅力に触れ、最終的には生産地まで足を運びたいような“きっかけ”をつくりたいと考えています。食を通じて、生産者さんや地域とのつながりを育んでいく。そういった好循環を大切にしながら、京都全体の活性化をめざしてまいります。



スポンサー地方創生

よーじやグループは、地域貢献のひとつとして、京都を拠点にするスポーツチームのスポンサー活動を2023年より行なっています。

多くの地域住民が熱狂するのが地元のスポーツチームです。

そのスポーツチームをスポンサーとして応援することで京都の活性化につなげ、弊社が掲げる「みんなが喜ぶ京都にする」を目指したいと考えております。

プロサッカークラブの「京都サンガ F.C.」とはプラチナスポンサーとして、プロバスケットボールチームの「京都ハンナリーズ」とはメジャーパートナーとして、特設ブースの出店やコラボグッズの販売などを行なっております。

こうした取り組みは、これまでよーじやに馴染みがなかった方にも

よーじやの取り組みを知っていただく機会となり、

地域のみなさまやファンの方、さらに従業員同士といった垣根を超えた交流にもつながっています。



【今後について】

よーじやは、もともとバッグやアクセサリなど、世の中に新しいものを届け、地元のお客さまに支えられてきたお店でした。ところが、約35年前に起きたあぶらとり紙ブームをきっかけに京都土産の定番となり、京都の方々にとって近くて遠い存在になっていきました。私たちは今、創業当初の原点に立ち返り、京都の方にも愛されるブランドとして、そして京都に関わるすべての方にとって意味のある存在になることを目指しています。2025年に発表したコーポレートスローガン「みんなが喜ぶ京都にする」には、そうした思いが込められています。

ライフスタイルブランド「よーじや」、「十割蕎麦専門店 10 そば」、「26(にーろく)ダイニング」、スポンサー地方創生。一見すると異なる事業ですが、すべて一本の筋につながっています。今後、まだ広く知られていない京都の魅力を発信する新たな事業の発表も予定しています。今後も京都に貢献する企業としての歩みを進めてまいります。

よーじや京都魅力発見隊

京都府内を訪ね歩き、現地を見て、聞いて、感じた京都の魅力を投稿しています。

*** 本件に関する問い合わせ先 ***

よーじやグループ

コミュニケーション戦略室 広報担当 東 紗良 (ひがし さら)

〒600-8031 京都市下京区寺町通四条下る貞安前之町 589 番地 TM 四条寺町ビル 7 階

TEL.075-354-1707 FAX.075-354-1708 MAIL:kouhou@yojiya.jp